

# 『水宮地区雨水貯留施設設置工事その2』に関する説明資料

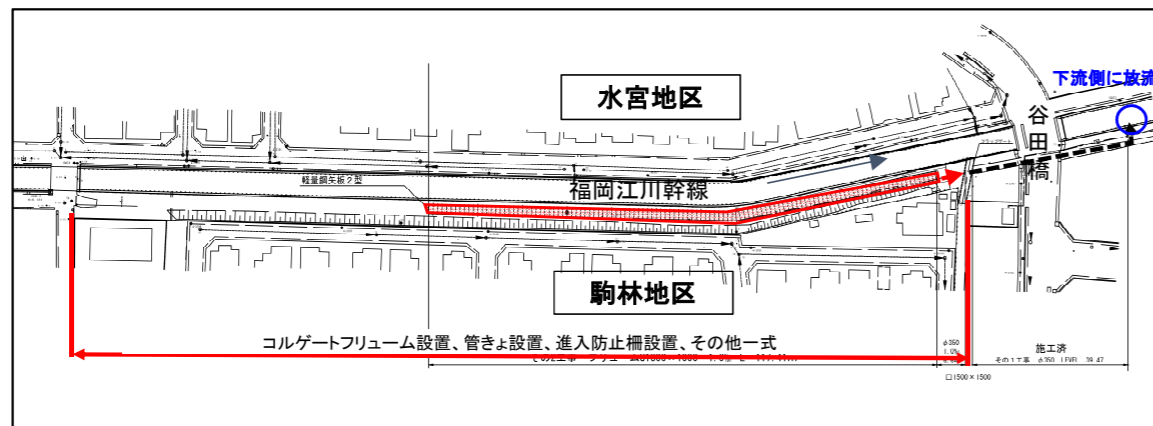
## 1. 工事の目的

平成29年台風第21号及び令和元年東日本台風の豪雨に伴い、水宮地区で住家浸水及び道路冠水があった実態を踏まえ、谷田橋付近における福岡江川幹線の南側（公共用地内）に「雨水貯留施設」を設置することにより、道路冠水の軽減を図ります。

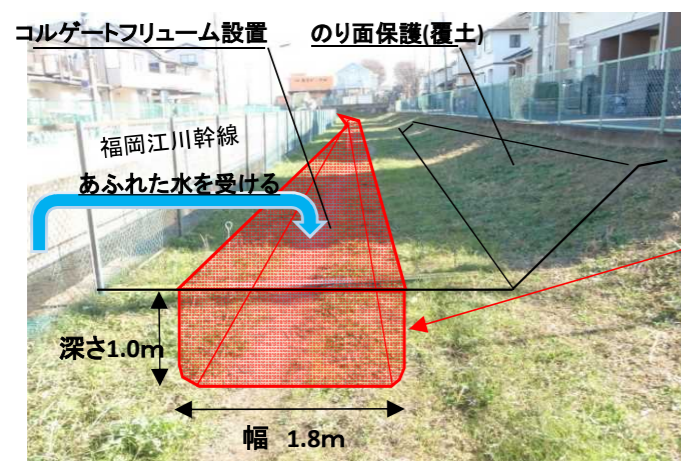
## 2. 工事概要

工事名：水宮地区雨水貯留施設設置工事その2  
 工事場所：ふじみ野市駒林地内  
 工事期間：令和3年2月下旬～令和3年6月30日まで（予定）  
 工事概要：雨水貯留施設工（コルゲートフリューム・U1800mm×1000mm）  
 延長：約117m、下水道管きょ工延長：約6.6m、  
 その他付帯工事：各一式

## 3. 平面図



## 4. 工事のイメージ図・写真

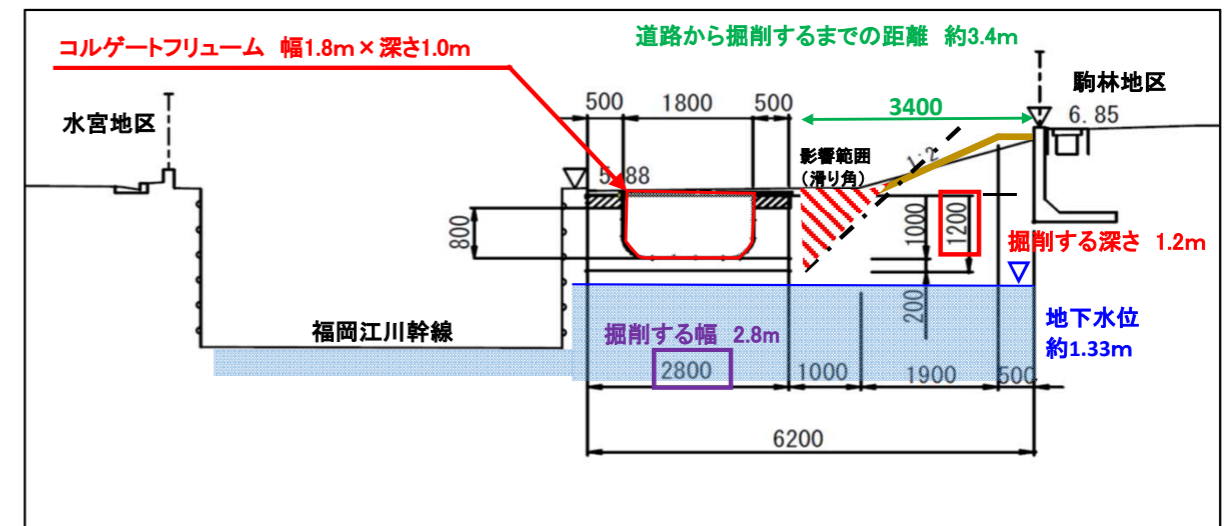


※施工例（参考）



※実際の施工と異なりますので、ご了承ください。

## 5. 施設概要図



## 6. 工事の効果

・福岡江川幹線からあふれた雨水を「貯留施設」で一時的に溜めてから、谷田橋下流側に放流することにより、水宮地区における内水浸水の軽減を促進します。

## 7. これまでいただいている主なご質問と回答

- 地下水位の状況はどうなっているか？  
 (答) 令和2年2月に実施した工事予定箇所の土質調査結果では、地下水位は地表面から約1.33mの深さでした。(5.施設概要図参照)
- 地下水位を考慮した設計にできないか？  
 (答) 地表面から1.2mの掘削とすることにより、地下水が出ない構造断面にしました。
- 掘削により、のり面の安定は保たれるのか？  
 (答) のり面保護の観点から、貯留施設設置位置をのり面から離し、のり面の表面を残土で覆うことにより、地盤の安定を保持します。
- 事故防止のため貯留施設に入らない対策はするのか？  
 (答) 外部からの侵入防止及び安全確保のため、貯留施設を門扉とフェンスで囲います。また侵入防止の看板を掲示し注意喚起します。
- 設計内容を概略図や数字などで示してもらえないか？  
 (答) 5.施設概要図をご参照ください。
- 工事により家屋などに影響が出たらどう対応してもらえるのか？  
 (答) 工事場所に隣接する家屋や外構工作物については、事前調査を行いました。工事実施後には、改めて事後調査を行います。事後調査の結果により万が一、工事による影響があったと判明した場合は、補償対応いたします。

※ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問合せ先：ふじみ野市役所 都市政策部  
 上下水道課 下水道施設係（担当：菊池・岡澤・坂本）  
 電話番号 049-220-2075（直通）